

平成 27 年 3 月議会に向けて……

① 平成 27 年度鎌ケ谷市一般会計予算案

○2月13日に鎌ケ谷市議会3月定例会が告示され、一般会計総額338億2000万円、特別会計238億2000万円、合計576億4000万円と昨年当初予算534億6200万円より41億7800万円増の平成27年度の予算案が示された。

	平成27年度	平成26年度
一般会計	338億2,000万円	317億円
特別会計	238億2,000万円	217億6,200万円
国民健康保険	139億8,400万円	123億2,400万円
公共下水道事業	22億6,500万円	21億9,300万円
介護保険	65億8,800万円	62億9,900万円
後期高齢者医療	9億8,300万円	9億4,600万円
合計	576億4,000万円	534億6,200万円

松沢の視点

鎌ケ谷市の平成27年度予算案、過去最大の576億4,000万円が示された。少子化対策や高齢者対策など、社会保障費の増加傾向が一般会計の増加を促している。今後も少子高齢化が進む中で、限られた予算を重点化・効率化していく必要がある。

○主な新規事業と予算額

地域型保育事業への給付、運営補助(5カ所)、整備費補助(新施設1カ所:28年4月開園予定 定員19名)	2億1,016万円
民間保育所の誘致(新施設1カ所:28年4月開園予定 定員90~120名)	1億8,704万円
子育て支援コーディネーターの配置	338万円
ファミリーサポートセンターひとり親世帯利用料助成金の実施	120万円
全中学校のエアコン設置	6億9,928万円
西部小学校入口の用地取得	1,232万円
小・中学校内の楽器更新	900万円
日本ハムファイターズ連携イベントの開催	120万円
「桜×鎌ケ谷=魅力アップ」事業の実施	754万円

○公共施設等の長寿命化を図るための費用

北部公民館の外壁・屋上防水、空調設備の改修工事	9,792万円
鎌ケ谷中学校の外壁・屋上防水工事	9,774万円
生涯学習推進センターの外壁・屋上防水、空調設備の改修工事	8,011万円
第四中学校プールの改修工事	3,934万円
中部小学校体育館床の改修工事	3,348万円
南児童センターのトイレ及び集いの広場活動室の改修工事	3,260万円
鎌ケ谷小学校トイレの改修工事	2,130万円
鎌ケ谷中学校の校庭集水槽の設置工事	1,612万円
道野辺保育園トイレの改修工事	1,515万円
長谷津市営住宅の内装全面改修工事の設計	900万円
鎌ケ谷保育園トイレ改修工事の設計	192万円
鎌ケ谷小学校プールの改修工事の設計	166万円
軽井沢地区集会所の外壁・屋上防水改修工事の設計	158万円
鎌ケ谷保育園遊戯室改修工事の設計	115万円
鎌ケ谷コミュニティセンター外壁改修工事の設計	106万円
主要市道4号線、他6路線の舗装改良工事	1億5,900万円
市道10号線、他3路線と3橋梁の路面補修工事	5,260万円
一般市道の排水整備工事	3,500万円
公園遊具等の改修工事	2,000万円
交通安全施設の更新	500万円

○予算審査特別委員会

■3月2日(月)10時から ■3日(火)10時から  
場所:鎌ケ谷市役所6階 第1委員会室

27年度における税金の使い道について、市議会での議論が把握することができます。鎌ケ谷市議会では予算審査特別委員会の傍聴が可能ですので、鎌ケ谷市議会にお越しください。

○閉会日 委員長報告

■3月16日(月)13時から

予算審査特別委員会での議論の内容を把握するには市議会の最終日に実施される委員長報告聞くとわかりやすいと思います。鎌ケ谷市議会の傍聴の他、1階のロビーでのテレビ、ユーストリームでのネット配信を実施していますので、ご覧ください。

松沢たけひとの活動



4月17日  
自治体財政の専門家である大和田一紘氏の講演を企画



6月19日  
北川正恭氏らとのパネルディスカッションを企画



8月30日  
鎌ケ谷市のインバウンドモニターツアーに協力



11月24日  
定期的に開催している市政報告会



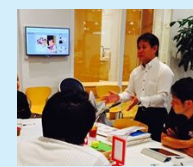
2月1日  
市政をもっと身近にと市政茶話会を開催



2月4日  
キャリア教育やインバウンドの地域貢献が新聞にて紹介される

ご意見

市政に関するご意見等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。また、お友達との井戸端会議、勉強会等、2~3人でも出前市政報告に伺います。



ママミーティング好評です

TEL 047-445-5260 FAX 047-443-5551  
E-MAIL kamagaya@t-matsuzawa.net

松沢たけひと「歩く道」ブログ

市政報告「あした輝け!」は初当選の約8年前から継続して発行し、鎌ケ谷市約4万世帯に通算約100万枚以上の活動報告を実施してまいりました。さらに情報発信するため、ホームページやブログのツールを活用し、日頃の議員活動の見える化を図っています。鎌ケ谷市政をわかりやすく伝えます!

http://www.t-matsuzawa.net/blog/

サポーター募集

お金をかけないクリーンな活動を展開しています。市政報告「あした輝け!」の配布など、お手伝いくださる方を募集しています。



- 昭和50年 鎌ケ谷市東中沢で誕生
- 昭和57年 みちる幼稚園卒園
- 昭和62年 鎌ケ谷市立中部小学校卒業
- 平成2年 鎌ケ谷市立第四中学校卒業
- 平成5年 県立白井高等学校卒業
- 平成10年 中央学院大学法学部法律学科卒業

プロフィール

- 平成18年 (株)人形工房 武人 設立 代表取締役
- 平成19年 鎌ケ谷市議会議員 初当選
- 平成23年 鎌ケ谷市議会議員 再選
- 平成23年 都市・市民生活常任委員会 委員長
- 平成24年 千葉県指定伝統的工芸品に認定

私、松沢たけひとは39歳と会派政友会の中では最年少ではありますが、鎌ケ谷市議会議員の一人として、市民の皆様へ信頼され、そして、期待に応えられるよう行動してまいります。

# 議会報告

## ① 松沢たけひとの 2 期目の一般質問要旨

### 平成 26 年

12 月定例会  
国道 464 号線・北千葉道路と新鎌ヶ谷駅北側の一体的な将来ビジョンを示すべきと提案。

9 月定例会  
ホームページの多言語自動翻訳サービスの導入を提案。

6 月定例会  
市内で出産を取り扱っている産婦人科が 1 カ所であることや他市に頼らざるを得ない小児救急医療体制の現状を指摘。

3 月定例会  
公共施設更新にあたり、試算していない状況を指摘。

### 平成 25 年

12 月定例会  
関係団体との高齢者の見守り支援体制の強化を要望。

9 月定例会  
各世代のための居場所の必要性を提言。

6 月定例会  
人口減少と少子高齢化への対応を提言。

3 月定例会  
市街化調整区域での市民農園設置を提言。

### 平成 24 年

12 月定例会  
地方交付税と臨時財政対策債の割合が高いと指摘。

9 月定例会  
都市計画道路整備率約 31.9%と低い状況を指摘。

6 月定例会  
築 30 年以上の公共施設が約 6 割ある状況を指摘。

3 月定例会  
市民にわかりやすい財務諸表の提供を要望。

### 平成 23 年

12 月定例会  
国民健康保険への一般会計からの繰入金を増加を指摘。

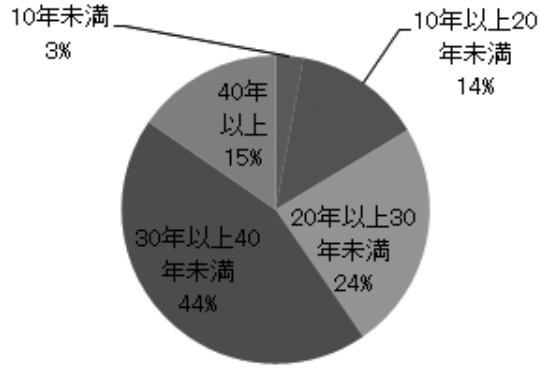
9 月定例会  
鎌ヶ谷市の就学援助認定基準が近隣市よりも厳しい現状を指摘。

6 月定例会  
放射線空間線量の調査と結果の公表を要望。

指摘や提案はすぐに通るものではありませんが、まちの課題を共有することで、まちづくりの第一歩が踏み出せるのではないのでしょうか。年に 4 回開催される定例会での一般質問は機会を欠いたことがありません。また一般質問の他、予算・決算審査特別委員会においても、市政全般質疑を行っています。

# まつざわのまちづくり

## 鎌ヶ谷市における公共施設の築年数別割合



鎌ヶ谷市では築年数 30 年以上経っている施設が約 6 割あります。高度成長期に整備したインフラ資産の老朽化に対応していくためには、市が保有する公有資産の現状と将来の展望について、サービスと負担という観点から世代を超えて議論をしていく必要があります。

Q 築 30 年以上の施設が約 6 割あるとのことですが、20 年後の 2035 年にはどのような状況になりますか？

松沢 このままの状況が進みますと、2035 年には築 30 年以上の施設は 97% になり、その内、築 50 年以上の施設が約 6 割になります。特に市立保育園 4 園全てが築 50 年以上になり、更新の計画も必要になってきます。

Q 大規模改修や更新するにしても費用がかかりませぬ。

松沢 平成 26 年度は公共施設の大規模修繕に約 7 億 3000 万円の予算を計上しています。また、鎌ヶ谷市は公共施設再編計画を実施していますが、施設にかかる将来費用の予測をたてていないのが実情です。更新費用の算出は急務ですし、施設の複合化や多機能化の検討が必要と考えます。

- ◎ 公共施設における更新費用の算出
- ◎ 公共施設の再配置や統廃合を含めた適正な施設総量の検討
- ◎ 公共施設の複合化・多機能化の検討

目指します！

# たけひとのひとづくり

○鎌ヶ谷市の平成 25 年合計特殊出生率…… 1.33  
50 年後に総人口1億人が確保される出生率の推計として「2040 年に 2.07」が必要と報告されている。

○将来的に子どもを(さらに)持つと考えた時の不安について

経済的負担の増加	70.9%
仕事と生活・育児の両立	45.9%
不安定な雇用、就業関係	42.2%
保育所などの保育サービスの不足	35.3%
出産年齢、子どもを持つ年齢	33.5%

平成 25 年「子ども・子育てビジョンに係る点検・評価のための指標調査」より

都市部にある鎌ヶ谷市にとって、現役世代を流入させるポテンシャルを持っているからこそ、人口流入策が重要であり、妊娠・出産・子育て環境の整備や女性が働きやすい環境整備を行うことが必要と考えます。

Q 鎌ヶ谷市で出産することができる産科が 1 カ所って本当ですか？

松沢 鎌ヶ谷市の出生者数は平成 26 年において 889 人となっていることから、出産することができる産科が 1 カ所しかない現状を改善する必要があります。環境を整えるためにも、開業支援のための事業を検討する必要があると考えます。

Q 子育てしたいと思いますが、将来が不安です。

松沢 子どもの教育費が 1 人 1000 万円とよく言われており、子どもが多い場合にはさらに費用がかかります。経済的な負担軽減や育児と仕事の両立ができる社会をつくることで、安心して子どもを産み、育てられるまちとなるのではないのでしょうか。不妊治療や多子世帯へのサポート等、子育て支援に取り組みます。

- ◎ 保育を申し込む児童が限りなく入所できるように、保育ママ制度の拡充、保育所の増設
- ◎ 多子世帯における放課後児童クラブ負担金、学校給食費の減免制度の創設
- ◎ 児童のための居場所として、退職教員や地域の人材を活用した、放課後自習教室の開設
- ◎ ファミリーサポートセンターにおけるひとり親世帯に対する助成制度の創設

目指します！

# 未来に責任

○鎌ヶ谷市の自主財源と依存財源の推移（決算より）

	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
自主財源	58.5%	55.7%	54.4%	53.8%	48.7%
依存財源	41.5%	44.3%	45.6%	46.2%	51.3%

○鎌ヶ谷市の特別会計を含めた借金（決算より）

	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
381 億円	372 億円	365 億円	366 億円	400 億円	

市民税や使用料、財産収入など市が自主的に収入し得る自主財源比率が年々下がりがつつあります。近隣市と比較しても、鎌ヶ谷市の自主財源比率の低さが示されており、国の施策等の影響を受けやすい状況と考えます。現在の国と地方の借金が 1000 兆円を超えているという不安定な財政運営のもと、市は依存財源に頼らない財政体質を構築する必要があり、次世代に安定した財政状況で引き渡すためにも、事業の選択と集中を図ることが重要と考えます。

Q 借金が増えていますが、財政運営は大丈夫ですか？

松沢 今の現役世代もいずれ高齢者となり、次世代に支えてもらわなくてはなりません。世代ごとに負担とサービスの差がありすぎる社会ではなく、バランスがとれている状況にすることで、安心して子どもを育てることができるのではないのでしょうか。次世代に負担だけを負わせないよう財政運営に取り組みます。

Q 財政ってむずかしいですね。

松沢 市の財政といいますとむずかしいと感じられますが、家庭にたとえると、財布のひもがしっかりしていないと家計のやりくりができないことと同じで、今だけ良ければいいというやりくりでなく、将来に責任をもった財政運営をする必要があります。鎌ヶ谷市の財政状況をわかりやすく紹介するための冊子作成や「あした輝け!」の内容充実を目指します。

- ◎ 将来世代に負担を先送りしない財政運営（市債残高の抑制）
- ◎ 臨時財政対策債発行可能額における満額発行の抑制
- ◎ 行政評価によって業務効率性を高める
- ◎ わかりやすい予算書の発行

目指します！